



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月6日

上場会社名 株式会社ワコム 上場取引所 東
 コード番号 6727 URL http://www.wacom.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 井出 信孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 町田 洋一 TEL 03-5337-6502
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	17,861	11.9	△388	—	△324	—	△115	—
2018年3月期第1四半期	15,966	20.4	△138	—	△46	—	172	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △70百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 342百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△0.71	—
2018年3月期第1四半期	1.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	51,521	21,644	42.0	133.14
2018年3月期	50,910	22,668	44.5	139.45

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 21,626百万円 2018年3月期 22,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	41,330	1.6	830	△44.7	670	△59.2	660	△60.6	4.06
通期	85,000	3.3	4,000	13.4	3,920	9.4	2,980	26.2	18.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	166,546,400株	2018年3月期	166,546,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	4,121,300株	2018年3月期	4,175,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	162,371,693株	2018年3月期1Q	162,371,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）における当社グループを取り巻く事業環境において、IT市場では、IoT（モノのインターネット）による情報ネットワークの拡大やデータソースの多様化に加え、モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルメディアに関連した技術革新や利便性向上などが見られました。同期間の主要通貨に対する円相場では、主要各国の金融政策の違いを反映し、前年同期で平均レートを比較すると対ドルで円高、対ユーロや対中国元で円安となりました（為替変動による業績への影響は、連結売上高を約1億円押し下げ、連結営業利益を約1億円押し上げた試算）。

このような事業環境の下、当社グループは、当期（2019年3月期）を初年度とする中期経営計画「Wacom Chapter 2」を策定し、「テクノロジー・カンパニー」としてペンやインクのデジタル技術で常に市場の主導権を握りつつ、持続的な成長を目指してまいります。当第1四半期連結累計期間については、IoT、VR（仮想現実）/MR（複合現実）、3D（三次元）プリンティング、AI（人工知能）、セキュリティ（安全性）といった成長分野において事業モデルを一段と進化させるための将来戦略を新たな経営チームの下で作りとするとともに、経営判断の質の向上を通して生産性やコスト構造の改善など経営課題にも全社的に取り組みました。

ブランド製品事業については、お客様に創造性発揮のための最高体験をお届けするため、技術革新へ取り組むとともに顧客サービスの向上に努めました。このような中、当第1四半期連結累計期間については、クリエイティブビジネスにおいて、ディスプレイ製品の新製品の供給が市場の需要を十分に満たすことができなかったこと、モバイル製品では製品ライフサイクルの後期に入った既存製品の販売が減少したこと、ペンタブレット製品では新製品の市場浸透が遅れ気味であったことなどから、ブランド製品事業全体としての売上高は前年同期を下回る結果となりました。

テクノロジーソリューション事業については、OSプラットフォームの壁を越えてデジタルペン技術（EMR：Electro Magnetic Resonance方式、アクティブES：Active Electrostatic方式）の業界標準化に取り組むとともに、タブレット市場での利用拡大や教育市場での事業機会の拡大に努めました。このような中、当第1四半期連結累計期間については、スマートフォン向けの需要が早期化したことや、タブレット向けの売上が好調に推移したことなどから、テクノロジーソリューション事業全体としての売上高は前年同期を大幅に上回る結果となりました。

中期経営計画の経営課題に対する全社的な取り組みとしては、利益重視の経営を目指し、組織やオペレーションの改革とコスト構造の改善などに努めました。当第1四半期連結累計期間については、販管費の最適化に引き続き取り組んだことで、売上高販管費率は36.4%と前年同期と比較して6.4ポイント低下しました。また、オペレーションの効率性改善や利益性向上の観点から、稼働中のグローバル基幹業務システム（ソフトウェア資産）に対しても見直しを行い、販管費の削減につながることから一部除却を決定し、固定資産除却損（142,091千円）を計上しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高が17,861,057千円（前年同期比11.9%増）となり、営業損失は388,499千円（前年同期は営業損失137,859千円）、経常損失は323,657千円（前年同期は経常損失45,730千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は115,446千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益172,324千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド製品事業

<クリエイティブビジネス>

クリエイティブビジネスは、主な製品ラインの売上高が前年同期を下回ったことから減収となりました。

○ ペンタブレット製品

「Intuos Pro (インテュオス プロ)」は、順調に売上を伸ばしました。一方で、「Intuos」は、3月に発表した新製品の市場浸透に遅れが生じたことなどが影響し売上が減少しました。また、昨年多くの新規ユーザーを獲得した新興地域向けの低価格エントリーモデル「One by Wacom (ワン バイ ワコム)」も、同様に売上が減少しました。これらの結果、ペンタブレット製品全体の売上高は前年同期を僅かながら下回りました。

○ ディスプレイ製品

液晶ペンタブレット「Wacom Cintiq Pro (ワコム シンティック プロ)」の製品ラインアップの強化を図りました。一方で、新製品の供給が市場の需要を十分に満たすことができなかったことなどから、ディスプレイ製品全体の売上高は前年同期を大幅に下回りました。

○ モバイル製品

デジタルペン搭載タブレット市場が拡大し競争環境が大きく変化するなか、主力製品である「Wacom MobileStudio Pro (ワコム モバイルスタジオ プロ)」は、製品ライフサイクルの後期に入ったことで売上が大幅に減少しました。この結果、モバイル製品全体の売上高は前年同期を大幅に下回りました。

<コンシューマビジネス>

昨年6月に発表したマイクロソフト社との共同開発によるWindows対応タブレットに最適なスタイラスペン「Bamboo Ink (バンブー インク)」は、北米を中心に売上が拡大しました。この結果、コンシューマビジネス全体の売上高は前年同期を上回る好調な結果となりました。

<ビジネスソリューション>

液晶サインタブレット製品「STU (エスティユー)」シリーズは、北米の金融機関向けを中心に売上が大幅に拡大しました。この結果、ビジネスソリューション全体の売上高は前年同期を大幅に上回りました。

これらの結果、ブランド製品事業の売上高は9,475,758千円(前年同期比9.6%減)、セグメント利益は686,960千円(同53.8%減)となりました。

② テクノロジーソリューション事業

<スマートフォン向けペン・センサーシステム>

主要顧客であるサムスン社からの需要の早期化により、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

<タブレット・ノートPC向けペン・センサーシステム>

アクティブES方式デジタルペン製品は、メーカー各社から高い評価を得て需要が拡大しており、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

これらの結果、テクノロジーソリューション事業の売上高は8,385,299千円(前年同期比58.2%増)、セグメント利益は1,049,019千円(同52.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、51,520,857千円となり、前連結会計年度末と比べ611,344千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が514,161千円、商品及び製品が760,283千円、その他流動資産が977,918千円、投資その他の資産が566,997千円増加し、現金及び預金が2,327,134千円減少したことによります。

負債の残高は、29,876,602千円となり、前連結会計年度末に比べ1,635,570千円増加しました。これは主に、買掛金が2,384,559千円増加し、賞与引当金が615,902千円減少したことによります。

純資産の残高は、21,644,255千円となり、前連結会計年度末に比べ1,024,226千円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定が47,479千円増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失で115,446千円、剰余金の配当で974,227千円減少したことによります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.5ポイント減少し、42.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ、2,327,134千円減少（前年同期は1,035,679千円減少）し、当第1四半期連結会計期間末では、16,829,993千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、955,543千円（前年同期は1,204,313千円の使用）となりました。主な増加は、減価償却費582,396千円及び仕入債務の増加額2,400,172千円であり、主な減少は、税金等調整前四半期純損失462,652千円、引当金の減少額605,775千円、売上債権の増加額1,580,944千円及びたな卸資産の増加額1,190,451千円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、530,645千円（前年同期は279,152千円の使用）となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出520,667千円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、869,690千円（前年同期は123,741千円の収入）となりました。内訳は、自己株式の処分による収入21,924千円及び配当金の支払額891,614千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年5月11日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,157,127	16,829,993
受取手形及び売掛金	10,738,243	11,252,404
商品及び製品	7,621,300	8,381,583
仕掛品	162,693	209,281
原材料及び貯蔵品	1,935,894	2,335,865
その他	2,612,008	3,589,926
貸倒引当金	△32,147	△37,887
流動資産合計	42,195,118	42,561,165
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	4,301,363	4,319,496
有形固定資産合計	4,301,363	4,319,496
無形固定資産		
その他	2,951,431	2,611,598
無形固定資産合計	2,951,431	2,611,598
投資その他の資産		
その他	1,520,716	2,086,919
貸倒引当金	△59,115	△58,321
投資その他の資産合計	1,461,601	2,028,598
固定資産合計	8,714,395	8,959,692
資産合計	50,909,513	51,520,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,100,670	9,485,229
短期借入金	3,000,000	3,000,000
未払法人税等	322,577	273,810
賞与引当金	1,037,202	421,300
役員賞与引当金	48,908	56,868
その他	5,242,731	5,304,043
流動負債合計	16,752,088	18,541,250
固定負債		
長期借入金	10,000,000	10,000,000
退職給付に係る負債	809,066	811,427
資産除去債務	234,735	236,920
その他	445,143	287,005
固定負債合計	11,488,944	11,335,352
負債合計	28,241,032	29,876,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,203,469	4,203,469
資本剰余金	6,098,918	6,100,962
利益剰余金	14,522,032	13,432,359
自己株式	△1,900,416	△1,875,838
株主資本合計	22,924,003	21,860,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	△1,646
為替換算調整勘定	△284,565	△237,086
退職給付に係る調整累計額	3,749	3,793
その他の包括利益累計額合計	△280,730	△234,939
新株予約権	25,208	18,242
純資産合計	22,668,481	21,644,255
負債純資産合計	50,909,513	51,520,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	15,966,343	17,861,057
売上原価	9,272,923	11,751,295
売上総利益	6,693,420	6,109,762
販売費及び一般管理費	6,831,279	6,498,261
営業損失(△)	△137,859	△388,499
営業外収益		
受取利息	17,983	11,184
為替差益	60,827	46,582
その他	22,902	17,815
営業外収益合計	101,712	75,581
営業外費用		
支払利息	9,388	9,545
その他	195	1,194
営業外費用合計	9,583	10,739
経常損失(△)	△45,730	△323,657
特別利益		
固定資産売却益	191	2,537
投資有価証券売却益	—	898
新株予約権戻入益	3,606	—
特別利益合計	3,797	3,435
特別損失		
固定資産売却損	—	339
固定資産除却損	838	142,091
特別損失合計	838	142,430
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,771	△462,652
法人税等	△215,095	△347,206
四半期純利益又は四半期純損失(△)	172,324	△115,446
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	172,324	△115,446

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	172,324	△115,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	△1,732
為替換算調整勘定	167,546	47,479
退職給付に係る調整額	2,130	44
その他の包括利益合計	169,464	45,791
四半期包括利益	341,788	△69,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,788	△69,655
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△42,771	△462,652
減価償却費	632,515	582,396
株式報酬費用	551	△2,268
固定資産除却損	838	142,091
引当金の増減額 (△は減少)	△506,705	△605,775
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,744	2,440
受取利息及び受取配当金	△17,983	△11,184
支払利息	9,388	9,545
売上債権の増減額 (△は増加)	456,629	△1,580,944
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△818,818	△1,190,451
仕入債務の増減額 (△は減少)	△597,216	2,400,172
その他	△145,555	74,323
小計	△1,026,383	△642,307
利息及び配当金の受取額	18,494	10,870
利息の支払額	△8,956	△9,153
法人税等の支払額	△187,468	△314,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,204,313	△955,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△288,157	△520,667
固定資産の売却による収入	191	6,128
その他	8,814	△16,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,152	△530,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	—
自己株式の処分による収入	—	21,924
配当金の支払額	△876,259	△891,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,741	△869,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	324,045	28,744
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,035,679	△2,327,134
現金及び現金同等物の期首残高	14,204,928	19,157,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,169,249	16,829,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、当第1四半期連結累計期間において自己株式が24,578千円(54,000株)減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は1,875,838千円(4,121,300株)となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ブランド製品 事業	テクノロジ ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,487,488	5,301,226	15,788,714	177,629	15,966,343	-	15,966,343
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,487,488	5,301,226	15,788,714	177,629	15,966,343	-	15,966,343
セグメント利益又は 損失(△)	1,486,025	689,894	2,175,919	△930	2,174,989	△2,312,848	△137,859

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリングソリューションであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,312,848千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ブランド製品 事業	テクノロジ ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,475,758	8,385,299	17,861,057	-	17,861,057	-	17,861,057
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,475,758	8,385,299	17,861,057	-	17,861,057	-	17,861,057
セグメント利益又は 損失(△)	686,960	1,049,019	1,735,979	-	1,735,979	△2,124,478	△388,499

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリングソリューションであります。なお、エンジニアリングソリューション事業については、2017年12月1日付で会社分割により新設会社に承継させるとともに、当該新設会社の全株式を譲渡しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,124,478千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

2019年3月期 第1四半期決算概要(連結累計期間)

(1) 決算業績

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
売上高	15,966	17,861	1,895	11.9%	82,263	85,000	2,737	3.3%				
営業利益 (営業利益率)	-138	-388	-250	--	3,527	4,000	473	13.4%				
経常利益 (経常利益率)	-46	-324	-278	--	3,585	3,920	335	9.4%				
当期純利益 (当期純利益率)	172	-115	-287	--	2,362	2,980	618	26.2%				
	1.1%	-0.6%			2.9%	3.5%						
P/L換算為替レート(期中平均)	円	円	円		円	円	円		円	円	円	
(USドル)	111.61	108.71	-2.90	-2.6%	110.81	105.00	-5.81	-5.2%				
(ユーロ)	123.14	129.39	6.25	5.1%	129.45	130.00	0.55	0.4%				

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。

(2) 事業セグメント別業績

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業												
売上高	10,487	9,476	-1,011	-9.6%	48,173	50,300	2,127	4.4%				
セグメント利益 (利益率)	1,486	687	-799	-53.8%	6,470	9,700	3,230	49.9%				
	14.2%	7.2%			13.4%	19.3%						
テクノロジーソリューション事業												
売上高	5,301	8,385	3,084	58.2%	33,648	34,700	1,052	3.1%				
セグメント利益 (利益率)	690	1,049	359	52.1%	5,678	2,590	-3,088	-54.4%				
	13.0%	12.5%			16.9%	7.5%						
その他の事業												
売上高	178	--	-178	-100.0%	442	--	-442	-100.0%				
セグメント利益 (利益率)	-1	--	1	--	-65	--	65	--				
	-0.5%	--			-14.8%	--						

注) 各事業別の利益は、管理部門などコーポレート費用の調整額の消去前です。

注) その他の事業(エンジニアリング/ソリューション事業)は、2017年12月1日付で譲渡し、実績は2018年3月期のみです。

(3) 製品ライン別売上

(現地法人別)	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業	10,487	9,476	-1,011	-9.6%	48,173	50,300	2,127	4.4%				
クリエイティブビジネス	9,122	7,571	-1,551	-17.0%	40,362	43,240	2,878	7.1%				
ペンタブレット	4,821	4,609	-212	-4.4%	23,390	25,050	1,660	7.1%				
(日本)	554	389	-165	-29.8%	2,040							
(米国)	1,293	1,158	-135	-10.5%	6,839							
(ドイツ)	1,091	1,061	-30	-2.8%	6,909							
(アジア・オセアニア)	1,883	2,001	118	6.3%	7,602							
ディスプレイ	3,301	2,320	-981	-29.7%	13,045	14,370	1,325	10.2%				
(日本)	764	496	-268	-35.1%	2,715							
(米国)	1,241	723	-518	-41.7%	4,577							
(ドイツ)	514	443	-71	-13.8%	2,822							
(アジア・オセアニア)	782	658	-124	-15.9%	2,931							
モバイル	1,000	642	-358	-35.8%	3,927	3,820	-107	-2.7%				
(日本)	264	193	-71	-27.0%	971							
(米国)	254	191	-63	-24.9%	1,120							
(ドイツ)	171	145	-26	-15.1%	733							
(アジア・オセアニア)	311	113	-198	-63.6%	1,103							
コンシューマビジネス	578	684	106	18.4%	3,310	2,640	-670	-20.2%				
(日本)	49	35	-14	-29.4%	214							
(米国)	337	486	149	44.2%	2,113							
(ドイツ)	107	89	-18	-16.8%	664							
(アジア・オセアニア)	85	74	-11	-11.8%	319							
ビジネスソリューション	787	1,221	434	55.1%	4,501	4,420	-81	-1.8%				
(日本)	221	202	-19	-8.5%	1,072							
(米国)	138	332	194	139.2%	950							
(ドイツ)	310	516	206	66.4%	1,880							
(アジア・オセアニア)	118	171	53	45.8%	599							
テクノロジーソリューション事業	5,301	8,385	3,084	58.2%	33,648	34,700	1,052	3.1%				
スマートフォン向け	207	2,109	1,902	916.3%	11,708	14,650	2,942	25.1%				
タブレット向け他	5,094	6,276	1,182	23.2%	21,940	20,050	-1,890	-8.6%				
その他の事業	178	--	-178	-100.0%	442	--	-442	-100.0%				
エンジニアリング/ソリューション	178	--	-178	-100.0%	442	--	-442	-100.0%				
(日本)	178	--	-178	-100.0%	442	--	-442	-100.0%				
合計	15,966	17,861	1,895	11.9%	82,263	85,000	2,737	3.3%				

(4) 現地法人別売上

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
日 本	7,331	9,700	2,369	32.3%	41,103	42,030	927	2.3%				
(うち、テクノロジーソリューション事業除く日本)	2,030	1,315	-715	-35.2%	7,455	7,330	-125	-1.7%				
米 国	3,264	2,889	-375	-11.5%	15,599	15,370	-229	-1.5%				
ド イ ツ	2,193	2,254	61	2.8%	13,007	14,440	1,433	11.0%				
ア ジ ア ・ オ セ ア ニ ア	3,178	3,018	-160	-5.0%	12,554	13,160	606	4.8%				
合 計	15,966	17,861	1,895	11.9%	82,263	85,000	2,737	3.3%				

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) ドイツは欧州・中東・アフリカ地域を含む。アジア・オセアニアは中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、台湾、インドの現地法人の合計です。

(5) 設備投資金額、減価償却費、研究開発費

	18年3月期		19年3月期		対前年同期増減		18年3月期		19年3月期		対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
設 備 投 資 金 額	353	393	40	11.5%	1,513	2,300	787	52.0%				
減 価 償 却 費	633	582	-51	-7.9%	2,421	2,600	179	7.4%				
研 究 開 発 費	857	879	22	2.6%	4,385	5,000	615	14.0%				

注) 設備投資金額は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。